

令和3年7月20日

保護者の皆様

高志小学校長 中川 斉史

## 通知表の見方について（お知らせ）

盛夏の候、保護者の皆様には、ますますご健勝のことと存じます。日頃は高志小学校教育およびPTA活動に、格別のご支援とご協力をいただき厚くお礼を申し上げます。

さて、1学期も終わり、子どもたちが心待ちにしていた夏休みを迎えることとなりました。お子様の学校での学習や生活の様子をお知らせし、学校と家庭が連携して子どもの成長を支援するために、通知表を作成し、本日お子様にお渡ししました。次の内容を参考に、お子様が1学期がんばったことを励まし、2学期からの学習や生活に対する意欲を育てていただけますよう、ご理解とご協力をお願いいたします。

なお、昨年度もお知らせしたとおり、令和2年度より小学校において新学習指導要領（文部科学省告示）が全面実施となりました。それにともない、通知表の評価の観点も令和元年度までとは異なっていますので、従前の通知表と新通知表の様式の変更点および通知表の見方について、再度お知らせいたします。

### 1 様式の変更について

#### (1)各教科の評価の観点が新しい3観点到整理されました。

各教科とも「知識・技能」・「思考力・判断力・表現力」・「主体的に学習に取り組む態度」の3観点で評価するようになりました。各教科の学習の様子の内容については、これらの3観点に準じて示されています。

#### (2)外国語科の新設

高学年（5・6年生）に週2時間の外国語科が新設され、それにともない様式が変更されました。令和2年度から文部科学省の検定を経た教科書が使用されるようになりました。

\*令和元年度までの副読本を使用した外国語活動から教科外国語に変更され、評価の在り方も他の教科と同様の目標に準拠（文部科学省が示した目標をどの程度到達できたか）した評価になりました。

#### (3)外国語活動の新設

中学年（3・4年生）に週1時間の外国語活動が新設され、それにともない様式が変更されました。令和2年度から副読本を使用しての外国語の学習が始まりました。

\*平成30年度、令和元年度も移行期間としての指導はなされていました。

#### (3)「評定」欄の新設

各教科の各学期・各観点を総括した評定欄が新設されました。3学期末に各観点的総括的評価として3段階で評定いたします。教科の評定は1年間の学びが文部科学省の示した目標をどの程度到達できたかを3段階で評価します。評定3は「よくできた」、評定2は「できた」、評定1は「努力しよう」です。

#### (5)連絡事項が1年に1回の記述になりました。

文部科学省が示している指導要録の様式および通知表の表記についての通知に準じ、文章記述による、保護者の皆様への連絡は1年に1回（3学期）の記述になります。

### 2 通知表の見方について

#### (1)「各教科の学習」のようす

各教科で身につける学力を観点別に表し、文部科学省が設定した目標に到達しているかを評価しています。（学級集団の中での他者との比較ではなく、各学年の目標に対しての個人の到達度を評価しています。）

各教科の内容を新しい3項目の観点に分け、それぞれについて到達度をA・B・Cの3段階で表しています。

A・・・よくできた（学習した内容について、その目標を十分達成している。）

B・・・できた（学習した内容について、その目標をほぼ達成している。）

C・・・努力しよう（学習した内容について、努力を必要とする。）

(2) 「外国語科」(5・6年生)について

平成30年度から5・6年生は従前の外国語活動に代わり、新しく外国語科(教科)が年間70時間(1週間に2時間)導入されました。外国語科では、身近で簡単な事柄について、「聞くこと」・「話すこと(やりとり)」・「話すこと(発表)」・「読むこと」・「書くこと」の5領域を学び、英語でコミュニケーションを図る基礎を育成します。

外国語科の評価は5領域の中から、日々の授業の学習態度、英語でのコミュニケーションのようす、ペンマンシップ、振り返りシートの内容、テスト等を総合的に評価し、他の教科と同様に目標の到達度をA・B・Cの3段階で表しています。

(3) 「特別の教科『道徳』の時間」のようす(全学年)

平成30年度から、これまでの道徳の時間が、「特別の教科道徳」として実施されています。しかし、他の教科のようにテストを実施したり、数値的な評価をしたりすることはありません。道徳の時間に友達と話し合い、考えを深め、成長した児童の内面を文章で記述します。1年間の道徳の時間の中で、特に成長したことを2学期に文章で記述して評価します。

(4) 「総合的な学習の時間」のようす(3年生～6年生)

総合的な学習の時間は、高志小学校で各学年で独自の目標・内容を設定して、体験・交流活動を積極的に取り入れ、他の教科などで身につけた知識・技能などを活用し、探究的な見方・考え方を働かせ、よりよく問題を解決し、自分の生き方を考えていく学習です。総合的な学習の時間の評価は、高志小学校で定めた観点について、授業の中での課題への取り組み、発言内容、ワークシートの記述内容などを総合的に評価し、個々の児童の学びで顕著な成長が見られたことについて評価します。通知表への記載は3学期に行います。

\*高志小学校の評価の観点

①主体的に学習に取り組む態度 ②思考力・判断力・表現力 ③知識・技能

(5) 「外国語活動」(3・4年生)のようす

平成30年度から3・4年生に新しく外国語活動が週に1時間導入されました。外国語活動では、身近で簡単な事柄について、外国語(英語)で聞いたり話したりして、自分の考えや気持ちを伝え合い、コミュニケーションの素地を育成します。

外国語活動の評価は、文部科学省が定めた3観点(①知識・技能 ②思考力・判断力・表現力 ③主体的に学習に取り組む態度)に基づき、日々の授業の学習態度、英語でのコミュニケーションのようす、振り返りシートの内容などを総合的に評価し、個々の児童の「学びのよさ」について評価します。通知表への記載は2学期に行います。

(6) 「特別活動」のようす

学級での係や当番、委員会活動やクラブ活動などの担当を記入しています。

(7) 「学校生活」のようす

学校生活のようすを10項目に分けて、低・中・高学年毎に目標を設定し、行動や態度がよくできていると認められる項目を、「よさが認められる」○印で表しています。

(8) 連絡事項

学習や行動などに関する総合所見として、発揮した力、伸びたところ、努力や工夫したことなどをお知らせしています。また、課題がある場合は、その内容と今後の指導の手立てや励ますことについてお知らせしています。通知表への記載は3学期に行います。

(9) 出席・欠席のようす

通知表をお渡しする日に近いところまでの、出席・欠席のようすを記しています。終業式などに欠席すると、実際の出席日数とズレていることがありますが、次の学期にお渡しする時に修正できています。印刷コスト削減のためですので、ご理解ください。